

《グラフィア》

秋も元気な「奈良の子ども」たち

《序文》

事 故 諸岡英雄 (1)

**主題**

子どもの自己創造を促す学習法  
——新しい自分を見つける——

新たな自分をつくる営み 梶田 萬理子 (4)

新しい自分に気づくとき 西條 友香 (10)

新しい自分の発見を通して、  
自分を作り上げていく 畔柳 英徳 (16)

❖ 子ども記 「言いたいこと」の時間 阪本 一英 (22)

**実践**

しじみと合宿の着眼と構想(三年・しじみ) 杉澤 学 (24)

身体で音楽を感じよう 山上 眞佐枝 (30)

「自覚」の積み重ねによる自己発見 大野木 位行 (36)

本と友だちになろう「三年とうげ」(三年) 大野 智子 (42)

❖ あのととき… 「教育実習」をふり返って 西下 旬也 (48)

❖ 子どもを育てる勤所 (教師) 小幡 肇 (50)  
若手教員へ (食 育) 太田原 みどり (53)  
食の学習「はじまりは生活から」

《特別寄稿》

教科課程・「学習課程」・教育課程 富士原 紀絵 (56)

《実践寄稿》

世界遺産 十津川の学習 宮島 一彰 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：都留進・カット絵：嶋守哲夫



2007. 10 第429号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラフィア》  
なかよし音楽会・歩走練習

《序文》

三方よし 諸岡英雄 (1)

【主題】 子どもの自己創造を促す学習法  
——新たなめあてに向かう——

めあてを持つて表現する 都留進 (4)

子どもを育てる 小幡肇 (10)

「新たな自分を創る」所に「新たなめあてに向かう」姿が内在する 谷岡義高 (16)

自ら学習のめあてを持てる子ども 理科室の学習の進め方 杉澤学 (22)

子ども記 お楽しみ会 杉澤学 (22)

実践

平城京と奈良の歴史研究 廣岡正昭 (24)

算数研究の進め方を考える 日和佐尚 (30)

わたしたちの家庭生活を高めよう 堀本三和子 (36)

伝統音楽を身体で感じて表現しよう 篠笛を吹こう 山上眞佐枝 (42)

あ の とき … 忘れられない算数の授業 畔柳英徳 (48)

子どもを育てる 勘所 聞き上手、話し上手な子どもを育てる 梶田萬理子 (50)

若手教員へ (「けいこ」の基礎) 子どもが自ら進んで話を聞いたり、集合を行ったりするようにするには 西下旬也 (53)

《特別寄稿》

清水甚吾の算術教育 松本博史 (56)

《実践寄稿》

初めての説明文を楽しむ一年生 松居恵子 (62)

会員のひろば (88) あとがき (70) 表紙：都留進・カット絵：嶋守哲夫



2008. 2 第431号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラフィア》  
体験学習を通して伸びる子どもたち

《序文》  
人間 諸岡英雄 (1)

**主題**

子どもの自己創造を促す学習法  
——自分さがしをたすける——

自分さがしをたすける	廣岡正昭 (4)
指導のあり方を考える	杉澤学 (10)
自分さがしを促す体験	阪本一英 (16)
入学する、その日から始まる	
自分さがし	

子ども記 スキー合宿の楽しみ 水原 睦 (22)

**実践**

独創的でねばり強い追究力を  
育てる「自由研究」 堀本三和子 (24)

「ちいちゃんのかげおくり」(三年) 大野智子 (30)

わらべ歌を教材とした音楽学習  
——三年生「あまぎけホイホイ」を教材とした実践を通して—— 西條友香 (36)

かんたんな調理をしよう野菜編(五年生)  
——食に関する学習——(けいこ(家庭)より——) 太田原みどり (42)

あのととき… イメージがないものは見えない  
——中津川野外学習の思い出——(随流導流) 山上眞佐枝 (48)

子どもを  
育てる勤所 日和佐 尚 (50)

若手教員へ (生活の中の学び)  
「下手の横好き」をまきて子どもを伸ばす 大野木位行 (53)

《特別寄稿》  
生活科・「総合的な学習の時間」  
で育てる力 津川 裕 (56)

《実践寄稿》  
奈良の学習法から学ぶ 高林 豊 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：都留進・カット絵：嶋守哲夫



2008. 4 第432号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラビア》

奈良の歴史を学ぶ・広島平和学習

《序文》

初心 諸岡英雄 (1)

主題

子どもの自己創造を促す学習法  
——子どもの自立を支える——

子どもの感性と追究力を 都留 進 (4)

育てる教師の支援

友だちの話聞いて自らの考えを つくる「なかよし」の学習 日和佐 尚 (10)

子どもの自立を支え、 大野木 位行 (16)

子どもを活かす生活システム

子ども記 「食べへん」と「喰わへん」 太田原 みどり (22)

実践

物語を読もう「海の命」(六年・立松和平作) 梶田 萬理子 (24)

「おたすね」で検討する活動の省察から

生まれる、相互学習での話題の検討 小幡 肇 (30)

四年 季節日記を読む 谷岡 義高 (36)

4 ☆器械運動ランドをつくらう 西下 旬也 (42)

あのあるとき・・・ 「待つ」ことで伸びる 大野 智子 (48)

子どもと共に歩む教師

子どもを 育てる勤所 教師としての自己の「足場」を問う 廣岡 正昭 (50)

若手教員へ (揭示物) 音楽室の揭示から 西條 友香 (53)

《特別寄稿》

幼・小の連携による学びの接続、交流、発展を考える 布谷 光俊 (56)

《実践寄稿》

筋道立てて考える力を高める単元構成の工夫 長間 清人 (62)

会員のひろば (68) あとがき (72) 表紙…都留進・カト絵…嶋守哲夫



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集



2008. 6 第433号

《グラビア》  
学習研究集会

《序文》  
セレンディピティ  
(serendipity)について 鈴木孝仁 (1)

《主題》 『学習法』の体得へ向けた取り組み  
——教室の学びの前には独自学習が必要①——

子どもの内発的な問いを 廣岡正昭 (4)  
促す独自学習 谷岡義高 (10)  
理科学習から見た 畔柳英徳 (16)  
独自学習の深化について  
けいこ(算数)の独自学習の意義と進め方  
——子どもの発達に応じた独自学習の進め方——

子ども記 保健グループの活動 水原睦 (22)

実践

つながりを深めよう(六年)  
——「しごと」(けいこ家庭)を関連づけた学習指導—— 堀本三和子 (24)  
新しい自由研究の取り組み①(なかよし)  
——人間として強い人間の育成を目指して—— 杉澤学 (30)  
わらべ歌を用いた新たな学習の展開  
——「音の重なりを感じてわらべ歌を歌おう」の実践を通して—— 西條友香 (36)  
子どもがつくる「体育研究」  
——運動が「わかる」体が「わかる」を目指して—— 西下旬也 (42)

教師の日記 教え子の活躍に喜ぶ 都留進 (48)

子どもを育てる勘所 (日本伝統音楽)  
日本伝統音楽の素晴らしさを伝えたい 山上眞佐枝 (50)  
若手教員へ (日直を育てる)  
主体的な学習生活を育てる 阪本一英 (53)  
——低学年での日直の役割——

《特別寄稿》  
二十一世紀のへ新わらべうた 教育が育てる力 小島律子 (56)

《実践寄稿》  
つながり・学びあう学習を目指して 安原宏一 (62)

——五年総合的な学習(六年社会科の実践)による二年間を通じた育ち——  
会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙:大野木位行・カット絵:嶋守哲夫



2008. 8 第434号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラフィア》  
夏に終わりを告げ、秋に臨む・  
プール水泳納会

《序文》

対話について 鈴木孝仁 (1)

**主題** 『学習法』の体得へ向けた取り組み  
—— 独自学習から相互学習へ① ——

造形学習の独自と相互 都留 進 (4)

自分たちで進める算数学習「教科書算数」  
における独自学習から相互学習へ 日和佐 尚 (10)

—— その進め方と子どもの思い —— 大野 智子 (16)

ひとりで読み味わい、  
みんなで読み深める学習

子ども記 夏休みの挑戦 太田原 みどり (22)

**実践**

一年生の想像力を高める 梶田 萬理子 (24)

—— 「おむすびころりん」を読む —— 杉澤 学 (30)

新しい自由研究の取り組み②(四年・なかよし)  
—— 人間として強い人間の育成を目指して —— 阪本 一英 (36)

一年生の学習生活を育てる 山上 眞佐枝 (42)

伝統音楽を身体で感じて表現しよう  
—— 篠笛を中心にした実践 —— 廣岡 正昭 (48)

教師の日記 手づくりの実践で  
「具体性の回復」を!! (意識付け) 大野木 位行 (50)

子どもを 育てる勘所 子どもによる学習活動のために  
(意識付け) 西下 旬也 (53)

若手教員へ (自律的な学びを目指して) 子どもがつくる水泳学習  
—— ワールド・イン・アット・ザ・ウォーター —— 松本 謙一 (56)

《特別寄稿》

子どもから見た授業 「単元学習」は手段か目的か 松本 謙一 (56)

《実践寄稿》

協同的な学びと評価の工夫による学ぶよろこびを 松本 謙一 (56)

実感できる理科学習の実践的研究 6年「人や動物の体」の実践を通して 松下 準市 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

楽しい音楽会・3年校外学習

《序文》

ロールモデルをみつける 鈴木孝仁 (1)

主題

『学習法』の体得へ向けた取り組み

——「独自学習相互学習独自学習」と習得活用探究との関わり①——

奈良女子大附小の「自律的学習法」の

立場から見た、「習得」「活用」「探究」

小幡 肇 (4)

「習得、活用、探究」と「独自、相互、独自」

を学びの様相からとらえる

杉澤 学 (10)

子どもの生活から

「習得・活用・探究」を考える

大野木 位行 (16)

◆子ども記

児童に学んだ

「しん」とのおもしろさ

山上 眞佐枝 (22)

実践

奈良のすてきを見つけよう(三年)

——その一、奈良公園の「鹿」——

堀本 三和子 (24)

説明文を読み深める

——「かむ」こととの力(四年)——

大野 智子 (30)

3年かけ算の筆算のしかたを考えよう

畔柳 英徳 (36)

健康診断結果の活用と

子どもの健康

水原 睦 (42)

◆教師の日記

高校時代の同窓会会報

梶田 萬理子 (48)

(自律的学習力を育てる)

◆子どもを

育てる勘所

学ぶ心に火をつける10のポイント

廣岡 正昭 (50)

若手教員へ

(食の学習)

子どもから学ぶこと

太田原 みどり (53)

《特別寄稿》

心理主義化された

道徳教育からの脱却

吉田 武男 (56)

《実践寄稿》

一人一人が知識や技能を生かし、

自己実現できる授業づくりをめざして

河野 敬重 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集



2008.12 第436号

《グラフィア》  
歩走練習納会・初めての合宿

《序文》  
知識社会の到来とフロネシス 鈴木孝仁 (1)

**主題** 『学習法』の体得へ向けた取り組み  
——教室の学びの前には独自学習が必要②——

独自学習ができる子どもを育てる 梶田 萬理子 (4)  
 独自学習を創る相互学習の大切さ 谷岡 義高 (10)  
 音楽学習から自由研究へ 山上 眞佐枝 (16)

❖ 子ども記 心のイメージを言葉に 堀本 三和子 (22)

**実践**

何倍になるのかな(思考法)四年 日和佐 尚 (24)  
 「ぼくのうんどうわたしのうんどう」の協議会からの考察 阪本 一英 (30)  
 共通事項を扱った音楽学習の実践事例 西條 友香 (36)  
 日常的「探究」から広がる子どもの造形 大野木 位行 (42)

❖ 教師の日記 森脇氏との協同的な授業研究から考えさせられる日々(感性を育てる) 小幡 肇 (48)  
 ❖ 子どもを育てる勘所(校外学習) 都 留 進 (50)  
 若手教員へ(校外学習) ひと、もの、こととの出会いを大切にす 杉澤 学 (53)

《特別寄稿》  
ミラノぶらり・・・ 亀岡 正睦 (56)  
「街角の算数」さがし

《実践寄稿》  
問題解決的な食のプログラム 林 美恵子 (62)  
を考える食事診断

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙…大野木位行・カット絵…嶋守哲夫



2009. 2 第437号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集



《グラビア》  
学習研究発表会(2月)・  
お別れと出会い

《序 文》

クロード・ベルナルと論理的思考 鈴木孝仁 (1)

主題 『学習法』の体得へ向けた取り組み  
—— 独自学習から相互学習へ② ——

自分たちで進める算数学習

—— 算数研究「算数の算数」における独自学習から相互学習へ ——

日和佐 尚 (4)

独自学習から相互学習へ

—— 「しごと学習」における子どもと教師のはたらき ——

堀本 三和子 (10)

体育学習における

独自学習と相互学習

西下 旬也 (16)

❖ 子ども記 「説明文」の楽しさ 阪本 一英 (22)

実践

「学習法」・校外学習記

—— 学校は協同社会となり、個性を発展させる環境となる ——

小幡 肇 (24)

説明文を読み深める力を高める

—— アップとルーズで伝える(四年) ——

大野 智子 (30)

しごと学習 4年奈良の民話を調べよう

畔柳 英徳 (36)

給食時間の指導

—— 子どもへの偏食「牛乳編」 ——

太田原 みどり (42)

❖ 教師の日記 授業日記を書く 谷岡 義高 (48)

(自ら関わる活動)

❖ 子どもを育てる勤所 鍵盤ハーモニカの学習 廣津 友香 (50)

若手教師へ

(特別活動)

「グループなかよし」に見る子どもの姿

水原 睦 (53)

《特別寄稿》

思考力や表現力を育成する授業づくり 馬野 範雄 (56)

《実践寄稿》

心豊かな子どもの育成 池田 美枝子 (62)

—— 「おたすね」を大切にしたいかわり合いを通して ——

会員のひろば (68) あとがき (69) 表紙…大野木位行・カント絵…嶋守哲夫



2009. 4 第438号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラフィア》

1・6年春のミニ運動会

《序 文》

デューイと反省的思考―探求 鈴木孝仁 (1)

主題

『学習法』の体得へ向けた取り組み

―「独自学習相互学習独自学習」と習得活用探究との関わり―

「習得」「活用」「探究」  
という課題に答える 小幡 肇 (4)

「探究」を核にひろがる学習生活 阪本一英 (10)

独自、相互の学習における知識技能の  
習得・活用・探究の扱いについて 廣津友香 (16)

子ども記 生き物の生と死を見つめて 杉澤 学 (22)



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

実践

三年 物の重さくらべ 谷岡義高 (24)

伝統音楽を身体で感じて表現しよう 山上 眞佐枝 (30)

子どもの探究心を刺激する造形活動について 大野木 位行 (36)

―立体造形「紙を立てる」の取り組みから―

5☆運動ランド(器械運動領域) 西下 旬也 (42)

―子どもが主体に進めるシンクロマット―

教師の日記 人生「幹」論 日和佐 尚 (48)

(自律的学習)

子どもを 育てる勘所 畔 柳 英 徳 (50)

育てる勘所

(教材研究)

若手教員へ 教師の読みをつくる 大野 智 子 (53)

《特別寄稿》

先達に学び続ける学校の再興を 佐藤 真 (56)

―奈良女高師附小の研究に学ぶ―

《実践寄稿》

聞き合いを通して、自分の考えを深める学習を目指して 村上 和 宏 (62)

―国語「大造し」と「五年」の学習の実践から―

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



2009. 6 第439号